

献立ひとくちメモ

6月30日(水)



郷土料理のお話です。

今日の給食は京都府の郷土料理です。南北に細長い形の京都府は、日本海側と内陸の気候に分かれています。この京都の気候や風土から生まれた食物を生かした「京のおばんざい」は、家庭の味として受け継がれています。

京都では、この半年の厄（災い）を祓い、残りの半年の無病息災を祈願するために1年のちょうど折り返しにあたる6月30日に水無月を食べます。この行事のことを「夏越（なご）しの祓（はらい）」といいます。水無月の小豆には悪魔祓いの意味があり、三角の形は暑さをしのぐ氷を表しているそうです。（この日は昔、氷の節句といわれていました。）